

ターゲット（アンカーチップ以外）の洗浄方法 1

1. ミリQでキムワイプを用いてこすり洗いする。取れないときはアセトンもあり。
2. メタノール：水(50:50)にできれば立てて浸す
3. そのまま超音波洗浄(3-5 min)
4. メタノールですすぐ
5. 新しいメタノール：水 (50:50)で再度超音波洗浄
6. メタノールですすぐ
7. ミリQですすぐ
8. 自然乾燥または窒素ガスで乾かす
9. これで落ちなければ（ポリマーなんかをやったときは）粉末の水酸化アルミニウムを吹き付けてこすってsonicするらしい

注意事項

- ・新しいものに関してはメタノール（特級）で洗い、こすらずに乾かす。
- ・土台は水洗いしない！！（細かいところに水が残り真空度が減る）
- ・ターゲットの表面は素手で触らないこと。洗うときも手袋したほうが良いかも。

ターゲット（アンカーチップ以外）の洗浄方法 2

- 1) 100% Acetone でリンスする（洗瓶などで表面に垂れ流す）。
- 2) 100% Methanol でリンスする。
- 3) 100% Acetone 中で超音波処理（3分）。
- 4) 100% Methanol 中で超音波処理（3分）。
- 5) DW 中で超音波処理（3分）。
- 6) 100% Methanol でリンスする。
- 7) DW でリンスする。
- 8) これでサンプルが落ちないようであれば3－7を繰り返す。
- 9) 表面をなるべく早く乾かすため、窒素ガスを吹き付ける。窒素ガスがない場合はキムワイプで指が表面に触れないように気をつけて水分を拭く。
- 10) 保存は室温・大気中で構いませんが、表面を下にして、初めのパッケージケースに入れて保存してください。

注意事項

MALDI-TOF-MS は超高感度測定機器であることを踏まえ、以下の点に留意してください。

- A. サンプルを測定後、再度そのターゲットを用いてサンプルを測定することがない場合には、なるべく早く洗浄してください（長時間サンプルをのせたままにすると落ちにくくなります）。
- B. 洗浄済みのターゲットでも、新たにサンプルを調製する直前に上記の洗浄を行ってください（実験室内の埃などが付着している可能性があります）。
- C. ターゲットの扱いは裏面もしくは横を持つようにし、表面に指などが触れないように気をつけてください。ターゲットの穴に先の細いピンセットなどを入れて扱うと便利です。
- D. 洗浄方法の1) 2) はマトリックスとして CCA や SA、DHB などを用いたときの溶媒を示しています。マトリックスを洗い流すことが目的なので、特別なマトリックスを用いたときはそのマトリックスが溶ける溶媒を用いてください。
- E. キャリブレーション用のサンプルポジションはいつも同じ場所を使うことをお勧めします。通常の実サンプルに比べて、濃度が高いため、ターゲット上に残りやすいからです。

アンカーチップの洗浄方法 1

使用後できるだけ早く

0.マトリクスを溶かした溶媒をキムワイプにつけて、マトリクスを拭き取る。

使用前に

1.50%メタノールに浸して 5-10min 超音波洗浄する。

2.ミリ Q に浸して 5-10min 超音波洗浄する。

3.50%メタノールに浸して 5-10min 超音波洗浄する。

4.ミリ Q に浸して 5-10min 超音波洗浄する。

5.アセトンをかける。

6.ミリ Q をかける。乾かす。

注意事項

- ・強アルカリ,強酸の洗剤は不可！！
- ・フレームは洗うな。
- ・洗い残りがあると次にピークが出る。量が多い方が優先的にイオン化される。
イオン化しやすい物質が優先的にイオン化される。
- ・疎水性面が汚れ、上手くはじかなくなったら（50-60回はOK）ノルマルヘキサンで洗う。
普通は中央の親水性部分だけに水は残る。

アンカーチップの洗浄方法 2

- 1) 100% Acetone でリンスする（洗瓶などで表面に垂れ流す）。
- 2) 100% Methanol でリンスする。
- 3) 50% Methanol in DW 中で超音波処理（5分から10分）。
- 4) 100% Methanol でリンスする。
- 5) DW でリンスする。
- 6) これでサンプルが落ちないようであれば3-5を繰り返す。
- 7) 表面をなるべく早く乾かすため、窒素ガスを吹き付ける。窒素ガスがない場合はキムワイプで指が表面に触れないように気をつけて水分を拭く。
- 8) 保存は室温・大気中で構いませんが、表面を下にして、初めのパッケージケースに入れて保存してください。

注意事項

ターゲット（アンカーチップ以外）の洗浄方法の注意事項に加えて以下の点に留意してください。

- A. 洗浄の溶媒として、決して酸やアルカリを使わないでください。
- B. **AnchorChip Manual** を熟読してから使用してください。特に **Cleaning the AnchorChip** を参照してください。